



自転車国内販売動向調査月報

平成 15 年 3 月分

この月報は、当協会が実施している全国100標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

注：平成15年4月(3月分)より調査方法を全面的に変更しました。そのため前年同月の結果数値は表記していません。

調査設計： 全国を9地域に分け、合計で100店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。

- 北海道・東北： 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 南関東： 埼玉、千葉、東京、神奈川
- 北関東： 茨城、栃木、群馬
- 中部： 山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
- 北陸： 新潟、富山、石川、福井
- 近畿： 三重、滋賀、奈良、和歌山
- 京阪神： 京都、大阪、兵庫
- 中国・四国： 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 九州： 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

販売：1店当たり30.6台

車種別構成比： シティ車47.8%、ホーム車24.1%、折りたたみ車2.5%、子供車4.9%、幼児車1.8%、マウンテンバイク4.1%、スポーツ車2.1%、電動アシスト車2.8%（中古車9.8%）

1. 調査店1店舗当たりの販売台数（総合）

[全国9地域 店舗：100]

(平成15年3月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	1店当たり販売高							
	本月		前月		対前月比	前年同月		対前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	16.2	47.8	-	-	-	-	-	
ホーム車	8.2	24.1	-	-	-	-	-	
折りたたみ車	0.8	2.5	-	-	-	-	-	
子供車	1.7	4.9	-	-	-	-	-	
幼児車	0.6	1.8	-	-	-	-	-	
マウンテンバイク	1.4	4.1	-	-	-	-	-	
スポーツ車	0.7	2.1	-	-	-	-	-	
電動アシスト車	1.0	2.8	-	-	-	-	-	
合計	30.6	90.2	-	-	-	-	-	
中古車	3.3	9.8	-	-	-	-	-	
総合計	33.9	100.0	-	-	-	-	-	
モーターバイク	1.0	2.9	-	-	-	-	-	

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

2. 地域別車種販売台数・比率（1店当たり）

（平成15年3月）

[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたた み車	子供車	幼児車	マウンテ ンバイク	スポーツ 車	電動アシ スト車	小計	中古車	合計	モーター バイク
北海道・東北 (15店)	12.3	4.8	1.0	1.9	1.7	1.8	0.7	1.1	25.3	3.8	29.1	1.2
	42.2	16.5	3.4	6.7	5.7	6.2	2.5	3.7	86.9	13.1	100.0	-
北関東 (6店)	25.8	16.8	0.5	1.8	0.2	1.3	1.5	0.7	48.7	2.2	50.8	2.0
	50.8	33.1	1.0	3.6	0.3	2.6	3.0	1.3	95.7	4.3	100.0	-
関南東 (19店)	10.3	14.8	1.3	2.0	0.6	1.4	1.1	0.9	32.4	2.7	35.1	0.2
	29.2	42.3	3.6	5.7	1.8	4.0	3.0	2.7	92.4	7.6	100.0	-
北 陸 (9店)	18.0	4.8	0.3	2.6	0.2	0.8	0.7	0.9	28.2	4.3	32.6	2.1
	55.3	14.7	1.0	7.8	0.7	2.4	2.0	2.7	86.7	13.3	100.0	-
中 部 (12店)	16.3	9.4	0.6	1.2	0.8	0.8	0.3	1.7	30.9	3.4	34.3	0.7
	47.3	27.4	1.7	3.4	2.2	2.2	1.0	4.9	90.0	10.0	100.0	-
京阪神 (16店)	11.6	5.9	0.9	1.7	0.6	2.4	0.9	1.1	25.2	1.9	27.1	0.5
	43.0	21.7	3.5	6.2	2.3	8.8	3.5	4.2	93.1	6.9	100.0	-
近 畿 (5店)	26.0	6.6	-	1.0	0.2	1.2	0.6	0.6	36.2	4.4	40.6	2.4
	64.0	16.3	-	2.5	0.5	3.0	1.5	1.5	89.2	10.8	100.0	-
中国・四国 (10店)	26.4	7.1	0.6	1.7	-	1.0	0.2	0.6	37.6	2.8	40.4	1.7
	65.3	17.6	1.5	4.2	-	2.5	0.5	1.5	93.1	6.9	100.0	-
九 州 (8店)	19.1	1.3	1.4	0.4	0.3	0.9	0.4	0.4	24.0	6.6	30.6	0.8
	62.4	4.1	4.5	1.2	0.8	2.9	1.2	1.2	78.4	21.6	100.0	-
合 計 (100店)	16.2	8.2	0.8	1.7	0.6	1.4	0.7	1.0	30.6	3.3	33.9	1.0
	47.8	24.1	2.5	4.9	1.8	4.1	2.1	2.8	90.2	9.8	100.0	-

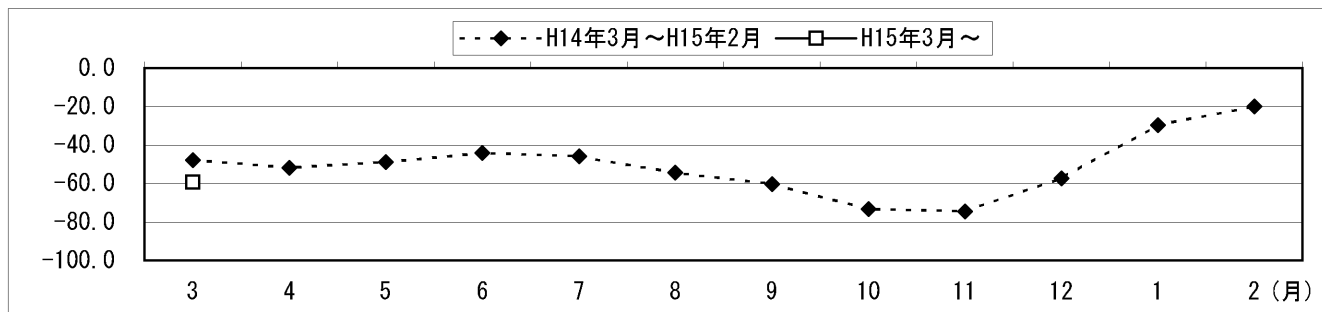
3. 1店当たり車種別仕入・在庫状況

（平成15年3月）

車種別		シティ車	ホーム車	折りたた み車	子供車	幼児車	マウンテ ンバイク	スポーツ 車	電動アシ スト車	合 計
仕 入	本 月(台)	12.7	7.1	0.6	1.4	0.3	0.9	0.5	0.9	24.2
	前 月 比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年同月比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在 庫	本 月(台)	18.2	12.8	2.8	4.9	2.8	4.5	2.2	1.2	49.5
	前 月 比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年同月比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在庫率	在庫/販売(倍)	1.1	1.6	3.5	2.9	4.7	3.2	3.1	1.2	1.6
仕入：1店当たり24.2台 在庫：1店当たり49.5台 在庫率：1.6倍										

4. 業況D I の推移

(注) 業況D I = 今後2～3カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



5. 自店や他店の動向、消費者ニーズ、メーカー・卸への要望等（抜粋）

平成15年3月

【北海道・東北】

- 今年度は雨の量が多く春の訪れが遅く販売が遅れましたが、メーカーサイドも量販店並みの価格の自転車の用意が必要かと。（北海道）
- 通学車は3万円を予算とする方がほとんど。メーカーカタログ価格で34,800円が上限。高校生の新車需要が減っている。古いホーム車でOK。新車でも2万円程度の予算でホーム車へ。（福島県）

【北関東】

- オートライトの通学車の販売が多い（色はシルバー）。（茨城県）
- 駅周辺の商店街ではありますが、開発事業のためにほとんど店がなくなり、大型店進出により客足は郊外に流れる。空き地、空き店舗も多く、地元生活者は高齢化している。モンパルなど最近多くみかけるが、値が高く販売に至らず、市でレンタル(月4000円)しているのでさらに販売不可能に近い。（栃木県）

【南関東】

- 年々通学車が売れなくなっています。特に高額車が売れない。（埼玉県）
- 毎年のことですが、この時期は通勤通学車の動きが多く、シティ、ホーム車等の販売数が増えるが、今年は少々売上げが減少。原因のひとつには、ディスカウントスーパー等の安売り車が多くなり、ユーザーの多くがそちらへ流れきみとみられる。安全性、アフターフォロー、スピード、技術他ソフト面において専門店のアピールを強くするべき。メーカーも安売りに流されないようにするべきでしょう。ちなみに各店がもう少しがんばらないと。当店はオリジナルサービスでがんばっています。（東京都）
- 専門店としての役割が消費者の求めるニーズにこたえることが、ますます厳しくなっている。（東京都）
- 湾岸戦争の影響か、いつもの春需より静かなように感じます。（東京都）

【北 陸】

- 農村部通学用シティ車、少子傾向につき販売台数前年比減少。ホームセンター販売7000円～程度のため、修理を中止して低価格車を求める状況。（新潟県）
- スーパー、ホームセンターの自転車販売が強く、なまじの努力では年々販売減少してゆくのをおとめることができない。社会全体に景気が回復すればもう少し自転車店に戻ってくるのだろうか。（新潟県）
- シティ車は100%が中学通学用。以前は低価格の販売もあったが、近年はホームセンターへ流れているようです。（福井県）

【中 部】

- 全般に売れ行きは横ばいです。スーパーと業界との製品のちがいを鮮明にして頂ければ。（長野県）
- 最近、修理も少なく、インターネット等で中古バイクなど売買しているようだ。（静岡県）
- 販売価格が下がっているが、高額商品も動いてはいる。メーカーも高級品と低価格車を区分して差別化をしてほしい。（愛知県）
- 高校通学車の減少および車種の分散化（いままで27型3段オートライト付が主だったが、あまり売れなかった）、および他の車種もスーパー等に流れた。（愛知県）

【京阪神】

- 市内の最激戦地。大型店、スーパー、ホームセンター等多く、個人の小売店は苦戦中。（京都府）
- 低価格車は扱わない。価格よりブレーキ等性能のよいものを選んで。消費者はよい自転車を安く買おうとしている。ディスカウント店でメーカー車が仕入れ値より安く販売されている。どうなっているのか？ 必要なものにはお金を出してくれる。（大阪府）
- メーカー志向の低下、まわりの大型店舗（チェーン店）、スーパー、ホームセンター等の低価格輸入車（中国製）大変苦戦しております。当店も修理店としてのユーザーの認識から脱皮すべき努力が必要と思われますし、メーカー、卸の具体的な指導を（生き残りのため）望んでいます！！（大阪府）
- 価格を求めるユーザー、個性を求めるユーザーとがだんだんと顕著になってきている。（兵庫県）

【近 畿】

- 3月のシティ車は中学校通学用自転車を中心（売価25,000円）。消費者ニーズはさらに低価格志向（ホームセンター、量販店のチラシ攻勢）。メーカーへの要望は、カタログ商品の需要期における欠品が多かった。（滋賀県）
- 私学校への通学者として販売故に高級車の売上げが大半。消費者ニーズも、用途に応じた予算設定ができているように思う。今年の需要期は完成メーカーの商品準備がよく、順調に商品が入荷した。（和歌山県）

【中国・四国】

- 地方都市の旧市街地の商店は全国どこも同じと思いますが、若者は都会へ行ってしまうし残った若者は郊外に家を建てて出るし、郊外の大型ショッピングセンターに客は行ってしまいます。有名商店街ほどシャッターが多くおりにいるし。生き残った商店も歯が抜けたようにばらばらあるだけで、お客も数えるほどしか歩いていません。これが現実であります。我々専門店もいつまで営業できるか不安です。卸の方も在庫を多くするように指導されますが、これがよいと思って仕入れた自転車も店に展示しても売れ残るのが多く、むしろカタログ販売の方が高級車が売れやすく思っています。（島根県）
- 市内中心部では昨年比落ち込み大だが、郊外の当店では昨年並みに推移。単価面では中学生向けは昨年並みに推移。近所の大型ホームセンターにはボリュームでは負ける。（岡山県）

【九 州】

- スーパー&量販店の3000円～4000円台で販売されている自転車や、なかには年数がたつとフレームが折れたり、ガタがきたりする自転車がありますが、そんな自転車の輸入制限はできないのでしょうか。（福岡県）
- 昨年末からのセールスで通学者は何とか前年並みの結果であった。市内4店の大型店の販売の影響により、市内業者による販売もガタ落ちで、大半が通学者の販売がなかったようである。高校生たちが男女ともに24型ママチャリを利用する流行が起こっていて、スーパーでの6000円台での車と業者による中古車が売れている。当店の中古車もすべて24型ママチャリである。マウンテンの動きが出てきたことに期待している。（熊本県）

6. 販売動向の特徴(平成15年3月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：%]

価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
10,000円以下	2.4	-	-	9.8	-	-	12.2	-	-	0.0	-	-	13.1	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
10,001～13,000円	2.8	-	-	10.0	-	-	4.4	-	-	4.2	-	-	6.6	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
13,001～17,000円	6.9	-	-	16.5	-	-	18.9	-	-	18.5	-	-	34.4	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
17,001～20,000円	5.1	-	-	15.3	-	-	11.1	-	-	29.8	-	-	32.8	-	-	2.9	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
20,001～23,000円	9.3	-	-	11.9	-	-	5.6	-	-	35.7	-	-	6.6	-	-	2.9	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
23,001～27,000円	12.1	-	-	16.8	-	-	7.8	-	-	7.7	-	-	6.6	-	-	8.6	-	-	6.2	-	-	3.0	-	-
27,001～30,000円	10.1	-	-	8.6	-	-	7.8	-	-	1.8	-	-	0.0	-	-	8.6	-	-	3.7	-	-	0.0	-	-
30,001～33,000円	12.2	-	-	6.9	-	-	1.1	-	-	1.2	-	-	0.0	-	-	5.8	-	-	8.6	-	-	0.0	-	-
33,001～37,000円	10.5	-	-	1.8	-	-	1.1	-	-	1.2	-	-	0.0	-	-	2.9	-	-	1.2	-	-	0.0	-	-
37,001～40,000円	8.2	-	-	0.4	-	-	8.9	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	5.0	-	-	14.8	-	-	0.0	-	-
40,001～50,000円	13.7	-	-	1.7	-	-	10.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	25.2	-	-	17.3	-	-	1.0	-	-
50,001～70,000円	6.6	-	-	0.2	-	-	1.1	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	19.4	-	-	6.2	-	-	52.5	-	-
70,001～100,000円	0.0	-	-	0.0	-	-	7.8	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	7.9	-	-	9.9	-	-	36.6	-	-
100,000円以上	0.0	-	-	0.0	-	-	2.2	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	10.8	-	-	32.1	-	-	6.9	-	-
合計	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-

フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
ブラック系	2.3	-	-	2.5	-	-	2.7	-	-	2.0	-	-	0.0	-	-	12.2	-	-	3.6	-	-	2.2	-	-
シルバー系	90.9	-	-	49.4	-	-	45.9	-	-	6.0	-	-	3.8	-	-	18.4	-	-	28.6	-	-	54.3	-	-
ホワイト系	0.0	-	-	1.3	-	-	5.4	-	-	2.0	-	-	0.0	-	-	2.0	-	-	7.1	-	-	0.0	-	-
ブルー系	5.7	-	-	21.5	-	-	8.1	-	-	36.0	-	-	15.4	-	-	32.7	-	-	25.0	-	-	19.6	-	-
パープル系	0.0	-	-	6.3	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	4.3	-	-
レッド系	1.1	-	-	7.6	-	-	16.2	-	-	2.0	-	-	7.7	-	-	2.0	-	-	10.7	-	-	2.2	-	-
グリーン系	0.0	-	-	2.5	-	-	5.4	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	7.1	-	-	2.2	-	-
イエロー系	0.0	-	-	0.0	-	-	2.7	-	-	0.0	-	-	15.4	-	-	2.0	-	-	0.0	-	-	2.2	-	-
オレンジ系	0.0	-	-	1.3	-	-	8.1	-	-	8.0	-	-	0.0	-	-	4.1	-	-	0.0	-	-	6.5	-	-
ピンク系	0.0	-	-	3.8	-	-	0.0	-	-	18.0	-	-	42.3	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	-
2色以上・その他	0.0	-	-	3.8	-	-	5.4	-	-	26.0	-	-	15.4	-	-	26.5	-	-	17.9	-	-	6.5	-	-
合計	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：%]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	1.1	38.6	60.2	-59.1
前月	-	-	-	-

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)